

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2008-14774(P2008-14774A)

【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2006-185827(P2006-185827)

【国際特許分類】

G 01 K 7/25 (2006.01)

【F I】

G 01 K 7/24 L

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月4日(2008.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の電源電圧が与えられて温度を測定し、前記温度の情報と前記第1の電源電圧の情報とを含む第1の電圧を出力するとともに、前記温度の情報が除外された前記第1の電源電圧の情報を含む第2の電圧を出力する温度測定部と、

前記第1の電圧および前記第2の電圧を受け、前記第1の電圧から前記第1の電源電圧の情報を除いて、温度値を決定する温度決定部とを備える、温度測定装置。

【請求項2】

前記温度測定部は、

温度に応じて抵抗値が変化する温度測定素子を有し、前記温度測定素子の抵抗値を前記第1の電圧に変換して前記第1の電圧を出力する温度測定回路と、

固定抵抗素子を有し、前記固定抵抗素子の抵抗値を前記第2の電圧に変換して出力する補正回路とを含む、請求項1に記載の温度測定装置。

【請求項3】

前記温度測定部は、

温度に応じて抵抗値が変化する温度測定素子と、

前記温度測定素子を着脱可能な電圧出力回路とを備え、

前記電圧出力回路は、前記温度測定素子が取り外された状態では、前記第2の電圧を出力し、前記温度測定素子が接続された状態では、前記第1の電圧を出力する、請求項1に記載の温度測定装置。

【請求項4】

前記温度決定部は、

前記第1の電源電圧に対して異なり得る第2の電源電圧が供給され、前記第2の電源電圧に応じた分解能を有し、前記第1および第2の電圧をアナログディジタル変換して、第1および第2の数値をそれぞれ出力するアナログディジタル変換回路と、

前記第2の数値に基づいて前記第2の電源電圧に対する前記第1の電源電圧の比を算出して、前記比と前記第1の数値とに基づいて前記温度値を決定する演算部とを含む、請求項1に記載の温度測定装置。